

【特集1】 駅開業 100 周年、100 年後も鉄道とともに——。

丹後山田駅の記憶

与謝野町唯一の駅「与謝野駅」は、今から 100 年前の 1925（大正 14）年 7 月 31 日、「丹後山田駅」として開業しました。

かつて丹後の産業と暮らしを支え、地域の玄関口としてにぎわいを見せていた丹後山田駅。丹後ちりめんを運ぶ貨車、出征兵士を見送る人々で埋め尽くされた戦時中のホーム、通学や通勤で行き交う乗客たち——。時代の移ろいとともに駅の姿や役割、名称も変わっていましたが、地域に寄り添うその存在は、今も変わることなく人々の心に刻まれています。

100 年の歩みを経てなお、新たな未来へ向かう与謝野駅の原点には、確かに「丹後山田駅」の記憶があります。

丹後山田駅に到着した気動車（キハ 51）から降車する乗客（昭和 45 年 11 月／NPO 法人加悦鉄道保存会提供）